



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第12号

令和4年9月28日

5年宿泊学習・国立立山青少年自然の家！

5年生が9月14日（水）、15日（木）に3年振りの宿泊学習を行いました。保護者の皆様の思いを踏まえ、学校医と相談した上で、5年生の先生方をはじめ教職員が感染対策を十分に講じることによって、実施に踏み切りました。



当日は、台風の影響による天候が心配されましたが、子供たちは元気よく宿泊学習へ向かいました。国立立山青少年自然の家に入所後、来拝山登山です。子供たちにとっては思いのほか急な坂が多く、大変苦勞しましたが何とか無事に登頂できました。誰一人脱落することはなく、予定よりも早く下山できました。グループで協力し、リーダーを中心に声をかけ合い活動する頼もしい姿が見られました。登山を終え、所に戻ってからは、焼板作りに取り組みました。一生懸命に苦勞しながら製作し、世界に一つの思い出に残る作品を作り上げました。夕食後は、楽しみにしていたキャンドルサービスです。揺れる炎を見ているだけで、なんだか心が落ち着いてきました。そして、各グループが工夫した楽しい出し物をして盛り上がりました。翌日は、野外炊飯です。グループで役割分担し、火を起こし、野菜や肉を切って食材の準備をしました。そして、カレーライスを作って食べました。とてもおいしいカレーライスになりました。食べ終わり、全員で協力して片付けました。



来拝山登山



焼板作り



キャンドルサービス



野外炊飯

所の方からは、「こんなにきれいに片付けた学校は初めてです」と褒めていただきました。自然の中でたくましく生きることを学びました。

学校評議員会を開催！



9月12日(月)、3年振りに第1回学校評議員会を開きました。学校評議員制度は、校長が必要に応じて、保護者や地域の方々に学校運営に関する意見を聞くための制度として、平成13年度に導入されました。その趣旨は、「開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民等の意向を反映し、その協力を得るとともに、学校の責任を果たす」ことです。

本年度は、次の皆さんに学校評議員をお願いしました。

小西 義邦 氏 (東明校区振興会会長・七美地域振興会会長)

大久保辰男 氏 (海老江地域振興会会長)

竹元 正治 氏 (本江地域振興会会長)

岩井 順子 氏 (校区ボランティア・ライラックリーディング)

朝倉あゆみ 氏 (前PTA会長)

まず、評議員のみなさんに授業の様子を参観していただきました。体育館での学習の成果発表会の練習やタブレット端末を使った授業、元気に歌う音楽の授業等、どの学級も普段通りの活気ある学習を行っていました。

参観を終えた後、高辻教頭が学校の概況と取組、学校評価について話しました。浅野教務主任からは、学校アンケートの結果と考察について説明しました。評議員のみなさんは真剣に耳を傾けてくださいました。



最後に意見交換を行いました。「体育館ではまだ熱中症の心配があるから、大型扇風機を回してはどうか」や「PTA広報誌がカラーになったことで見やすくなり、親しみがもてた」、「地域との関わりを深めるため、曳山や獅子舞を取り上げ、学校でも囃子方の練習はできないか」など、貴重な意見をいただき、とても有難く思いました。これからの教育活動に生かしていきたいです。

素晴らしい！日本人の美德



2018年サッカーの世界カップで、日本人選手やサポーターたちが試合に負けたにもかかわらず、去り際に行ったごみ拾いが日本人の美德として世界各国に報道され、誇らしい気持ちになったことを覚えています。

「第30回WBSC U18 ベースボールワールドカップ(W杯)」がアメリカで開催されました。話題になったのは、日本の高校球児が打席に立つ際に球審にお辞儀をする姿や、試合終了後一列になって深々と頭を下げる態度が「審判を、対戦相手を、試合をリスペクトしている」と称賛されました。試合結果よりも素晴らしい成果を日本チームが残した大会となりました。

(校長 阿尾 昌 樹)